

令和3年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会議事録

日 時：令和4年3月18日（金）10時～12時

場 所：石狩市役所401会議室（オンライン出席可）

出席者：松島 肇（会長）・安田秀子（副会長）・溝渕清彦・山本亜生・西川洋子・
森 幸二・更科美帆・宮本 尚・田畑 博 ※全てオンライン出席

事務局：時崎宗男（センター長）・中野康男（主査）・荒山千恵（主任）・高橋恵美（技師）
合同会社いしかり植物ラボ 内藤華子 ※オンライン出席

傍聴者：1名

議 題：

- （1）令和3年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告（案）について
- （2）令和4年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画（案）について
- （3）その他

資 料：

令和3年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会次第

【資料1】令和3年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告（案）

【資料1】（別紙）令和3年度石狩浜海浜植物保護センター利用者アンケート集計
結果

【資料2】令和4年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画（案）

その他：通信はまぼうふう71～73号

【事務局】

只今より令和3年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会を開催させていただきます。本日はお忙しいところ、ご出席頂きましてありがとうございます。事務局の時崎でございます。どうぞよろしく願いいたします。運営委員の皆様におかれましては、前回同様、オンラインの開催とさせて頂いております。電子機器の不調によりご迷惑おかけする場面があるかもしれません。その際はどうかご容赦いただけますよう、お願いいたします。議事録を作成するため、本会議は録画させていただいておりますので、予めご了承くださいと思います。それでは以後の議事進行につきまして、松島会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【松島会長】

皆さん、おはようございます。会長の松島です。今日はよろしく願いします。今回の運営委員会は皆様の任期最後の委員会となります。会えずに終わってしまいますが、どうぞよろしく願いします。

それでは、第2回目の運営委員会を始めていきたいと思います。お手元の次第に沿って

進めていきたいと思ひます。議題1、令和3年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告案について事務局の方からご説明お願ひします。

—議題(1) 令和3年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告案について—

【事務局】

配布しました資料の順にご説明致しますが、委員の皆様へは事前に配布させていただいておりますので、概略のみを説明させていただきます。質問につきましては、再生園の業務を委託しております、合同会社いしかり植物ラボの内藤代表共々お答えして参りたいと思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。

事業概要についてですが、資料1ページをご覧ください。令和3年度からは市直営での施設運営に移行し、再生園の維持管理業務を合同会社いしかり植物ラボに委託する体制で、新たな始動となりました。今年度も引き続き4つの事業目標のもと、施設内外において普及啓発活動等を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開館期間中に2度の臨時休館となりました。開館時間につきましても、午前10時から午後4時までと通常より2時間短縮や活動制限がされるなど、なかなか思うような活動ができませんでした。が、感染対策を取った施設運営や情報発信を工夫、臨時休館中は施設内外の整備業務や環境業務の準備など、状況に合わせて幅広い活動を進めることができました。

次に普及啓発活動についてですが、資料は3ページからになります。主な取り組みとしては、石狩浜の自然情報の発信、令和2年度に海浜植物保護センター20周年記念事業の一環として取り組んだ思い出マッププロジェクトによる成果展の開催、環境学習の場として更なる活用を図るための環境整備、また参加型再生活動なども進めて参りました。コロナ禍ではありましたが、教育機関や団体での施設利用もあり、通信紙の発行やホームページ、近隣施設の情報案内など様々な媒体に掲載し、より保護センターの情報を発信して参りました。

次に調査研究ですが、資料の18ページからになります。石狩浜の自然環境の記録、自然観察園の植物生育状況など、自然情報の記録と収集データの整理を進めて参りました。また、保護センターに保管されてきた調査記録資料や標本書籍の整理も随時進めて参りました。収集データを活用し、石狩浜思い出マッププロジェクトとして公開も致しました。

野外調査ではハマボウフウのモニタリング基礎調査や聚富海岸植生再生試験への協力、ハマナス再生園を利用した海浜植生の保護保全の検討なども進めました。また、海浜植物等保護地区とその周辺の花浜植物再生手法の検討や、石狩浜の生物多様性の検討を目標とした石狩浜海浜植物等保全検討会議も実施いたしました。

次に環境整備ですが、資料23、24ページになります。日常的な敷地内の整備に加えて、建物の老朽化に伴う小規模修繕を行ないました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として定期的な消毒作業や換気、触れる展示やクラフト体験は中止、施設内ではソーシャルディスタンスを確保できるよう環境づくりに努めて参りました。

最後に施設利用状況についてですが、資料の25ページからになります。今年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響を受け、臨時休館、主要なイベントの開催中止などにより昨年度からも大幅に入館者数は減少しております。今年度は市民等の利用状況や意識要望等を把握し、今後の保護センターの運営を役立てるため、来館者を対象としたアンケートを実施致しました。アンケート結果につきましては、資料1（別紙）にまとめておりますので、別途ご参照ください。駆け足になりますが、事務局からは以上です。

【松島会長】

ありがとうございました。それでは只今のご報告に対して、ご質問やご意見等ある方はよろしく申し上げます。

【西川委員】

活動報告の中に職員体制がないので、体制について教えていただければと思います。できれば活動報告に載せるとか、報告の中につけ加えていただけるとありがたいです。

【事務局】

令和3年度の職員についてですが、正職員と会計年度任用職員で運営しております。会計年度任用職員については専門員と補助員の2名体制で、正職員を加えながら2名常勤する体制を確保しておりました。専門員の方の退職もありましたが、基本的に2名を保てるように人員を確保しておりました。

【安田副会長】

報告書の33ページについて、運営委員の名簿が載っているのですが、関わった職員の名前の記載はできないのでしょうか。

【事務局】

職員の掲載については、過去の記録としては残しておく必要性については分かりますが、保護センターの活動報告として載せる情報であるかは内部で検討いたします。

【安田副会長】

載せる方向で検討していただきたいと思います。関わった人がどういった人で、委託先等も支えてきている人たちなので、振り返られるようにしてほしいと思います。載せられない内容もあるかと思いますが、ご検討よろしく願いいたします。

【山本委員】

職員の配置について、常時2名ということですが委託前と直営とでは保護センターの常駐する職員については変化があったのでしょうか。

【事務局】

NPO法人に委託していた時は常時最低2名以上でお願いはしておりましたが、流動的に業務に合わせた体制で努めていただきました。

【山本委員】

たくさんお客様が来るような施設だと常勤2名の体制はトラブルなどの対応がある場合は難しいのではと思い、質問させていただきました。

【松島会長】

NPO に委託時代に働いていた時は、市が直接雇用していたのでしょうか。それとも NPO から委託をしていたのでしょうか。

【事務局】

NPO で任用しておりました。

【森委員】

報告書の 22 ページに石狩浜海浜植物保全検討会議の開催ってありますが、具体的にはどんなことを検討されて、何が実践・実行はされるのでしょうか？

【事務局】

こちらの検討会議につきましては、その他事項で説明をする予定ではありますが、石狩浜アクションプランという石狩浜の保全方針を定める行動計画を策定するための会議となります。この検討会で話されたことはアクションプランに反映する予定です。

【松島会長】

確認なのですが、これは保護センターの活動なのでしょうか。

【事務局】

明確に保護センター、自然保護担当と峻別しづらいテーマではありますが、検討会について保護センターの取り組みとして分けております。

【森委員】

いつ頃の計画に反映させていくということなのですか。

【事務局】

令和 4 年度、5 年度の 2 カ年をかけて作る予定でおります。

【西川委員】

関連の質問ですが、検討会について保護センターの活動というのはちょっと違和感があるので、位置づけをもう一度考えていただきたいと思います。

【松島会長】

私も同じ意見です。

【事務局】

記載のあり方につきまして、保護センターの活動であるのか、業務としての分けなのか今一度検討しておきます。

【松島会長】

載せるにしても、関連する活動という書き方のわけが必要だと感じました。

【田畑委員】

市直営になったということで、現在の人数でこれだけの業務をどう対応されていたのでしょうか。

【事務局】

職員も交えながら実施しているところではありますが、足りない部分もありました。後

程報告する予定であります、人員体制については次年度の予算も含めて計上していくことで進んで参りました。

【溝渕委員】

事業報告書にも次年度計画書のように対応しているとわかりやすいかと思えます。体制についても報告書にあったほうがよろしいように思えます。また、検討会についても、直接的な保護センターの活動ではないと感じましたので、参考資料のような形で後ろにあると良いかと思えます。

次年度の事業報告案でおおむね達成、あるいは現状維持という判断なのですが、課題についてもあったと思えます。目標に達成していない点などもあるかと思うので、その点について教えていただければ一緒に考えていけると思えます。

普及啓発については、この人数体制でここまで取り組まれていることはすごいと思えます。

【事務局】

事業計画や報告書の書き方について、今一度検討の余地があると思えました。ご意見踏まえて整理ができるかと思えます。

普及啓発の課題については、臨時休館中でもネットを活用、図書館の花壇整備、図書館でのパネル展示など一目につきやすい場所を活用した事業をさせて頂きました。

調査研究については、検討会議でアクションプランを作成する中で今後こういった場所を見ていく必要があるか、どんなことができるのかという点について初年度現地調査してきたということです。今後引き続き継続して、変化を見つけていきます。

環境整備については、再生園の委託をしている植物ラボさんにご説明お願いいたします。

【植物ラボ】

参加型で植生の維持管理をしていくことを目標にしておりましたが、昨今の状況では難しい現状です。しかし、地域の人たちが関わっていけるような仕組みは今年度から実施しているところです。今後も引き続き地元の方への周知を広げ、参加者を増やしていくように考えております。

【松島会長】

事業計画にある課題については、報告書で成果、課題として記載があると、まとまって次につなげやすいものになるかと思えます。

ご検討いただければと思えます。

【田畑委員】

ハマナス育成サポーターについて質問です。身近に感じられるという意味で、ぜひまた続けてほしいと思っています。

【植物ラボ】

そういったご意見もありますが、自生地を離れての育てて戻すということについてしっ

かり考える必要があると思っております。その点については、植物生態学の観点からはいかがでしょうか。

【松島会長】

ハマナスは他のバラ科と交雑しやすく、他のバラとのハイブリッドができてしまいます。例えば色が変わるなど。自分の庭で楽しむなら良いと思いますが。交雑してできた子孫を浜に戻してしまうのは、良くないです。浜に戻さないならばよいと思いますが。西川委員もいかがでしょうか。

【西川委員】

私も同じ意見です。交雑しないような条件下で育てたものを戻すのであればよいですが。育てること自体は問題ではないのですが、元に戻すことは別に考える必要があると思いません。

【松島会長】

バラ科の中でもルゴサ系というハマナスを親にした品種がいくつかあります。なので、その品種と交雑するような状況について気になりました。

【内藤委員】

お二人のご意見だと戻さないほうが良いということでしょうか。

【西川委員】

そうですね。外で育てたハマナスにどんな花粉がついているかもわからないです。育てることには問題はないと思います。

【植物ラボ】

ありがとうございます。次のシーズンが始まるのですが、少し考えたいと思います。もうじきシーズン始まりますけど、ちょっと考えさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

【松島会長】

20 ページの情報発信について、砂丘の風資料館での紀要へリンクを貼るなどの工夫を検討していただけると良いかと思えます。

【事務局】

リンクについては調整中ですので、保護センターのホームページから資料館のホームページへ行くようにできるようさせて頂ければと思います。

【安田副会長】

21 ページに保護センターの調査研究報告一覧があるのですが、2022 予定というものはこれから出すということですか。過去に調査報告はやめる、資料館の紀要に載せるという形になったと思っていました。

【事務局】

保護センターの研究報告として報告するという予定です。

【安田副会長】

26 ページに施設利用団体の表記が日付と人数だけなのですが、団体名について記載もしてほしいと思います。どの場所から来ているかもわかると思うので。

あと、フィールドマップについてももう少し大きな記載をお願いします。その他の文字も小さいので大きくしていただけると助かります。

【溝淵委員】

今のご質問に関連してなのですが、調査報告等に関しては報告に入れるのではなく、巻末で良いのではと思います。また、2022 年に報告予定とありますが、今年度にしないのであれば来年度での報告となるのではと思います。

【松島会長】

施設利用団体については、環境学習と同じような体裁の方が分かりやすいかと思います。

【事務局】

今頂いたご指摘については、少し工夫をして見やすい形に変えていこうと思います。

【田畑委員】

15 ページの情報発信について広報にもホームページに載せていたような内容で書かれていると良いかと思います。

【事務局】

担当部署もありますので、そういった普及啓発ができるように考えていければと思います。

【安田副会長】

定期観察の会で提出しているデータはどうなっていますか。

【事務局】

データにつきましては市の文章規定に基づいて管理しております。

—議題（2）令和4年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画案について—

【松島会長】

次の議題の方に移りたいと思います。議題2 令和4年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画案についてです。こちら事務局の方からよろしくをお願いします。

【事務局】

資料2 A3、1枚となっております。来年度も、大きく3つの施設を利用した普及啓発活動・調査研究・環境整備としております。

内容につきましては、今までの事業内容と大きな変化はございませんが、前年度の成果課題等を踏まえた事業計画案となっております。また、第3次石狩市環境基本計画で生物多様性の保全方針が定められたことから、新たに項目を増やし、事業の仕分けを致しました。

来年度については、今年度の事業計画から保護地区の普及啓発を追加しました。事業の目的としましては、令和2年に実施した思い出マッププロジェクトから保護地区の認知度

の低さが分かり、地元への普及啓発から石狩浜の大切さの認知度を上げるために新規事業として追加いたしました。施設を利用した普及啓発活動については、来館者の方々が興味関心を持っていただける工夫、展示の更新、環境学習施設としての更なる利用の促進を図るための環境整備をいたしました。ハマナス再生園においては、これまでと同様に市民が参加しながらハマナスの再生活動や、再生手法の検討、情報発信につきましても、引き続き多くの方の目に留まるよう、さまざまな媒体より発信してまいりたいと考えております。

また、保護センター機能としましては調査研究につきましても、次年度の活動の柱として考えており、昨年度に続き聚富海岸植生再生手法の検討への協力と、ハマボウフウの個体数モニタリングの調査などを実施してまいります。

最後に環境整備としましては、施設内では老朽化に伴う小規模修繕の実施、外来植物の除去など保護センターとして必要な活動を実施して参りたいと考えております。

【松島会長】

資料と説明の言葉が若干一致してない点がありますが、概ね理解できました。

【西川委員】

保護センターの体制についてもこちらで紹介していただくと、事業に対する妥当性などの判断ができるので書いていただけるとわかりやすいです。

調査研究についてモニタリング調査区を過去に設定していた件については、アクションプランで考えてから入れるという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

職員体制については、表現の仕方を考えてまいります。

モニタリング調査区についても、アクションプランの中で検討を進めていく考えです。

【西川委員】

もう少しちゃんとした計画書を作成したほうが、話がしやすいかと思います。

【宮本委員】

コロナが収束した後の大人数での来館者などのスタッフ体制についてお伺いします。次世代ボランティアなどのビジョンについてどうお考えでしょうか。学生さんなどを巻きこむとか。松島会長にもご意見お伺いできればと思います。

【松島会長】

関連しての質問です。海水浴の利用で保護センターへの来館等への影響はあったのでしょうか。その時の対応はどうだったのでしょうか。

若手の育成についてはいかがでしょうか。

【事務局】

団体対応や環境学習については、正職員と植物ラボの委託で対応しています。

海水浴シーズンですが、あそびーちへの集客はあったようですが、保護センターへの入館はそこまで多くはありませんでした。ボランティアの育成については、全市的な慢性的な課題となっています。その点については、委員の皆様にもお力をお借りして対応できれ

ばと思います。

【松島会長】

若手の育成に関しては、単なる労働力として若者を使うのではなくて、活動に参加することで、彼らが学んで、そこから学んだことをどう解決に活かせるのかという提言ができるような、関係づくりが必要だと感じています。若者も単なるゴミ拾いの労働力だけで終わってしまうと、疲れるだけで、一回やったらいいかなと深く関わろうという気にはならないと思います。そういう仕組みを作ることが大事じゃないかなとは思っています。

【植物ラボ】

体験活動のスタッフは市の職員だけでは足りません。ハマナス再生プロジェクトのように、民が動いていく仕組みや、経済を巻き込む仕組みが必要だと思います。関心を持つ入口の機能としてハマナスの活動があり、市ではできない動き方をして石狩浜へ訪れるきっかけ作りを作ろうとしています。

【西川委員】

保護センターは多くの人が集まるよりも、小規模でのイベントが適していると思います。ですので、定期的な観察会などを続けると良いと思いました。それに伴って専門知識をちゃんと持った方っていうのを必ず一人、あるいは最低でも一人できれば二人くらい配置したほうが良いと思います。

【事務局】

認知度を高めて人を増やしていくアプローチは必要かと思しますので、過去の事例を参考にしつつ新しい手法でのやり方を考えていきます。

専門員については我々も考えているところではありますが、引き続き働きかけが必要ではあると思っています。

【宮本委員】

関わり方が多様化してきていて、家族が自分たちの庭のように活動されている事例もあるので、成長していけるような活動が育てばいいなと思っています。

【溝渕委員】

展示情報だけ見るのでは学べないことも多いので、体験メニューなどがあると良いのかなと思います。この事業案では委託業務にて検討とありますが、意見が出にくいので出していただけると良い。人がいないということも合わせて考える必要があるので、協働などの柔軟な考え方もあると思うので計画に反映されていると良いかと思えます。

【事務局】

引き続き感染対策は必要になると思いますので、その点と活動についてできることを進めていきたいと思っています。事業計画についてもそういった視点を含めて見直せばと思います。

【安田副会長】

石狩海岸サポーターズ会議ということで石狩海岸を北海道遺産に推薦しました。協力体

制になりたいと思いはありますので、今後とも一緒に活動できればと思っています。

【事務局】

ありがとうございます。

【森委員】

新規事業に関して、自分たちも一緒に関わっていただけると考えております。

【更科委員】

海浜植物保護センターではあるのですが、生物多様性という観点もあるかと思えます。アクションプランに合わせて海浜植物以外の事業についてはどういった事業展開になるのかお伺いさせていただきたいです。

【事務局】

事業の中には触れておりませんが、自然保護担当という点で実施していく予定となっております。

【更科委員】

希少種保全についても、事業にありませんが現状は考えていないということになるのでしょうか。

【事務局】

その点につきましても、自然保護担当業務として取り組んでまいります。

【松島会長】

保護センターの展示でも植物以外もありますので、事業の一つに入れてもよいのではと思っています。

【安田副会長】

今まで環境基本計画のような方針の中で保護センターは何を目指していくという点が欠けていたように思います。新しく環境基本計画の文言もありましたので、保護センターの長期的なビジョンについても考えていければいいのかなと思いました。

【事務局】

石狩浜アクションプラン等で長期的な考え方を進めています。

【溝渕委員】

情報発信がその他となっているので、そのまま情報発信で良いと思います。また、環境基本計画も自然との共生にしてもよいのではないかと思います。また、施設管理と運営体制と保護区の監視についても同じ表記にするとわかりにくいかと思いますので、項目を分けてもよいのではないかと思います。

事業内容については、対話をする事業がないと思いました。協働の観点から言うと対話という部分も必要かと思いますので、一つぐらい入れていただけると良いと思います。例えば学生さんとの交流など。

【事務局】

環境基本計画に意識した作りをさせて頂きました。保護センターの運営と、事業、体制

などを総合的に見て洗いなおせればと思います。

対話についてですが、どういったことができるのか、この事業計画書にかけるのか含めて課題とさせていただきます。

【安田副会長】

やっぱり検討の必要があるものが多いので、前向きに考えてほしいと思います。

—議題（3）その他—

【松島会長】

最後に議題3、その他として事務局の方から何かございますでしょうか？

【事務局】

次年度の海浜植物保護センターの運営時間について報告申し上げたいと思います。開館時間を9時から17時にさせて頂いておりましたが、新型コロナウイルス感染の影響で短縮し、午前10時から午後4時までの開館としておりました。引き続き感染防止対策が必要であると事務局では現在考えており、引き続き午前10時から午後4時までの運用にさせていただきたいと考えているところでございます。

先ほどから何度かお話にあります、令和4年度より第三次石狩市環境基本計画に基づく生物多様性の個別計画「いしかり生きものかけはしプラン」を定めて参ります。石狩浜に関しては昔から保護の活動がなされていることから、地域の個別計画として石狩浜アクションプランを定めていきます。保護センターにおきましても石狩浜アクションプランの中で位置づけて作成していくことになるかと思っております。本委員会が任期が終了となりますが、引き続き意見を伺う場面があるかもしれませんのでご協力どうぞよろしくお願いいたします。

【松島会長】

情報提供ということで、生物多様性、地域戦略というのを今、石狩市の方で策定を始めていくところです。必ずしも市で策定しなければならないものではないのですが、石狩市として生物多様性の保全に向けて、戦略を積極的に立てていこうという取り組みです。石狩浜という場所は重要なランドスケープを持っているエリアになりますので、長期的なビジョンを設定できればいいのかと思います。

最後になりますが、保護センターが開館から20年経過しました。保護センターでの20年を振り返りたいと思い、安田副会長の方で報告書等から文字おこしをいただいて資料を作成いただきました。保護センターが設立されてから、どんな取り組みがされてきたかというのをまとめていただいております。最初の方は車両の乗入れの問題がクローズアップされて、どうコントロールして行くか試験を試してみたり、砂丘の復元を試してみたりという活動が中心でした。その後保護区について、どこに作るかが議題となっていました。

溝渕委員がおっしゃっていた対話をどうするかという動きや、再生プロジェクトが平成25年からスタートしています。自然資源を活用して、保全の重要性を認識してもらおうと

いう広範囲な面にシフトした印象を受けます。その後はアウトソーシングに力を入れて行くというような話がありました。施設の展示について運営委員会の中で細かく話し合う時間があまり取れてなかったように思います。平成 25 年以降から展示や活動、NPO 法人団体の活動を中心に話し合われてきました。

平成 27 年以降は、セイヨウオオマルハナバチの駆除、あるいはアズマヒキガエルの対策と外来種問題というのでも出てきました。保護センターの中でも、植物だけではない生きものつながりの重要性について変化していきました。

保護センターの活動をまとめていただいた貴重な資料だと思います。本当に安田副会長には多大な時間を費やしていただき、ありがとうございます。この続きを完成させて共有させていただければと思います。安田副会長からコメントいかがでしょうか。

【安田副会長】

初めの 10 年間と、資料にはありませんが保護センターができる前の 10 年について調べました。保護センターが出来た経緯を振り返ると、市民の力が強かったと思います。そういった活動をしている団体が育っていればと思いました。

【松島会長】

ありがとうございます。赤字になっているところが、その市民グループとの共同で活動してきたところだと思います。本当に多くの団体が支えて、これまで活動してきたということがよくわかります。ぜひ皆さんも目を通して頂いて、続きは必ず作りたいと思いますので、よろしく願います。

それでは議題は以上となります。全体をとして何かご質問やご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？なければ、事務局にお返しいたします。

【事務局】

長時間にわたり御審議賜りましてありがとうございました。本日の議事録につきましては、会長に確認後、各委員にお配りしたいと存じます。また、本日のご意見につきましては、今後の保護センターの運営に活かして行きたいと考えております。今後ともお気づきの点がございましたら、随時事務局までご連絡ください。第 2 回運営委員会を終了致します。本日はどうもありがとうございました。ありがとうございました。

【松島会長】

ありがとうございます。最後に皆さん何か一言ずつでも是非もしお時間あればいただければと思います。

【山本委員】

コロナがあって、会議もリモートでしたが、コロナが明けてから、人の流れも変わってくると思います。引き続き継続でやらせていただくことになってますので、またよろしく願います。

【溝渕委員】

私も全く石狩のほうに行って直接どういう状況なのかというのもお伺いできていません

でした。大変恐縮でしたが、まん延防止等の重点措置の期間が一旦切れるので、直接行ってお話を伺いできればと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【森委員】

現場でお話する機会がなくて大変残念ですけれども、私たちも定期的に出かけて観察しています。現場ですばらしい石狩の自然をぜひ皆さん体感しながら活動も進めて行きたいなと思います。どうもありがとうございました。

【宮本委員】

委員になってからコロナで、本当に皆さんと直接お話できなかったのが残念なのですが、ラブアースクリーンアップという石狩浜でのゴミ拾いをずっと保護センターにご協力いただいていますし、2019年にテオヤンセンを呼んだ時に松島先生と一緒に環境活動を伝えるという企画をやりました。コロナ前にできたということ、今しみじみ感じているところです。今後も石狩浜の活動はできることはやっていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

【更科委員】

2年間ありがとうございました。私もこの2年ぐらひは保護センターの方には伺っていないので、できれば自分も行って、来館されている方はどんな風に展示を見られているとか、そういったことを考えられたら良かったのかなと思っています。来年以降にできればいいなと思っていますので、これからもよろしくお願いします。

【安田副会長】

コロナが非常に大きかったです。保護センターにはもうちょっと行きたかったというのが、正直あります。今回まとめてみましたが、多岐にわたっているということが大きいです。あとPR力がやはりちょっと弱く感じました。せつかくある所を、もっと発信して、多くの人に知ってもらうように頑張ってもらいたいなあとというふうに思っています。それを支える私たちも頑張らないといけないのだろうなという風に思っているところです。

【田畑委員】

4年間、関わらせて頂きました。石狩海岸は、全国レベルで非常に貴重なところでもありますし、高く評価されているところですので、貴重な自然生態系が残されることを願っております。ありがとうございました。

【松島会長】

ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。第2回運営委員会を終了させていただきたいと思います。運営委員の皆様、長時間のご審議、大変ありがとうございました。